

令和3年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 尾倉 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語、数学)

教科に関する調査(国語、数学)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

(1) 全国・本市の学力調査(国語, 数学)の結果

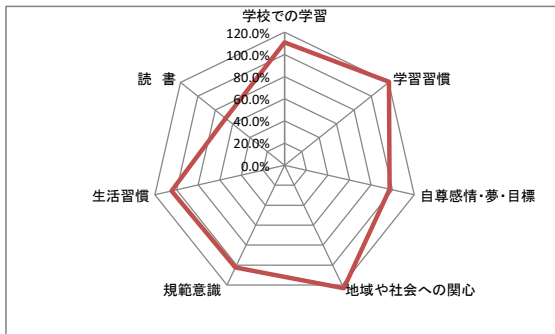
本年度の結果	国語		数学	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.8	63	8.8	55
全国	9.0	65	9.1	57

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	「読むこと」領域のみ全国平均正答率を下回っている。文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつこと、また、「書くこと」領域でも、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを書く問題の正答率が低い。自分の考えをもつことや書くことに課題がある。	全国平均正答率との比較
	よってきた問題	1一、二の問題の正答率が高い。これは、質問の意図を捉える問題であり、話合いの話題や方向を踏まえ、質問の意図として適切なものを選択肢から選ぶ問題である。	上回っている
	努力が必要な問題	3四の問題の正答率が低く、無解答率が最も高い。これは、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、文章中の表現を引用した上で、分かったことと自分の考えを書く記述式の問題である。	

数学	全体的な傾向や特徴など	「図形」領域のみ全国平均正答率を下回っている。根拠を明確にして、ある事柄が成り立つことについて証明することや、資料の活用で、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する等、根拠を基に説明する力に課題がある。	全国平均正答率との比較
	よってきた問題	7(1)の問題の正答率が最も高い。関数で、与えられた表やグラフから、必要な情報を読み取り、グラフ上の4つの点からあてはまる点を選ぶ問題である。	上回っている
	努力が必要な問題	8(3)の問題の正答率が最も低く、無解答率が最も高い。資料の活用で、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題である。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・「将来の夢や目標を持っていますか」に対し、肯定的に回答した生徒の割合は、全国平均と同等であるが、「自分には、よいところがあると思いますか」に対し、肯定的に回答した生徒の割合が、全国平均よりも低い。道徳の時間等を活用し、自尊感情を高める手立てが必要である。 ・「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」に対し、1時間以上読書をする生徒の割合が低い。学校の授業以外にも読書タイムを設定したりリブリオバトルを行うなど、本に触れる機会を増やす手立てが必要である。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

・「自分の考えを書く」「根拠を基に説明する」等、記述式の問題に課題があるため、「相手や場を想定しながらスピーチやインタビューを行う、手紙や電子メールを書くなどの活動」「証明するために必要な事柄を取り出し、筋道に沿って、証明を書く活動」等、書く活動を充実させた授業づくりに取り組む。

② 家庭生活習慣等に関する取組

・「尾倉ノート」1日1ページ学習を今後も継続して行い、家庭学習を習慣化し、基礎学力の定着を図る。
 ・総合的な学習の時間に活用している「読売ワークシート通信」を持ち帰らせ、文章を読む機会を増やすとともに時事ニュースに興味をもたせる。